令和元年9月9日

栗東市 建設部交通政策課

## 栗東市交通体系の見直しにかかる路線毎の考え方(イメージ)

## 1. 地域公共交通の役割分担の考え方

栗東市内の地域公共交通の役割分担は、次のとおりとし、複数の地域公共交通の連携により、「1回の乗継ぎで市内各所へのアクセスを確保する」地域公共交通ネットワークの維持・確保を図る。

## 表 栗東市における地域公共交通の役割分担

| 役割    |    | 概要   | 路線  |
|-------|----|--|---|
| 幹線交通  | 広域 | ・複数の市を連絡する路線のうち、広域的な連携を担うもの                      | <ul> <li>JR 琵琶湖線</li> <li>JR 草津線</li> <li>路線バス</li> <li>一草津・伊勢落線</li> </ul>   |
|       | 市内 | ・主に市内とその近傍の地域間輸<br>送を担うもの                        | <ul> <li>・路線バス</li> <li>一金勝線(草津駅発着)</li> <li>一栗東市役所循環線</li> <li>一岡・小柿循環線</li> <li>・くりちゃんバス</li> <li>一草津駅・手原線</li> <li>一大宝循環線</li> <li>一宅屋線</li> </ul> |
| 支線交通  |    | ・居住地から拠点ないし幹線交通<br>を連絡するもの                       | <ul> <li>・路線バス         <ul> <li>一金勝線(栗東駅発着)</li> <li>・くりちゃんバス</li> <li>一葉山循環線</li> <li>一治田循環線</li> </ul> </li> <li>・くりちゃんタクシー金勝循環線</li> </ul>         |
| 補完的交通 |    | <ul><li>・ラストワンマイルなど、需要の<br/>小さな輸送を担うもの</li></ul> | 民間タクシー  |

## 2. くりちゃんバス・タクシー見直しの考え方

くりちゃんバス・タクシーは、「栗東市バス交通体系計画」で策定した基本理念・基本方針等 に基づき、路線改正等を検討していくものとする。

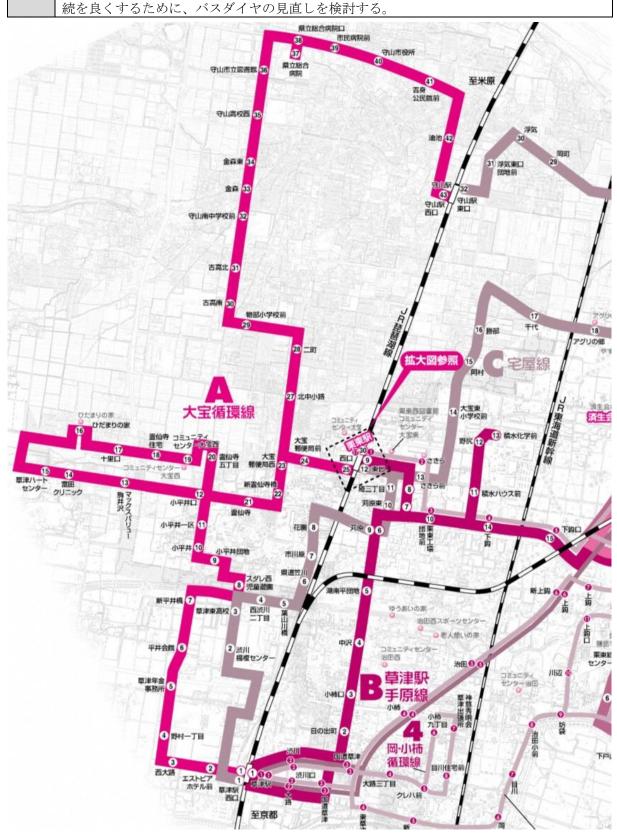
今後、短~中期的に路線改正等では、次に示す事項の実施を検討する。

表 くりちゃんバス・タクシーにおける短期的な改正の考え方(イメージ)

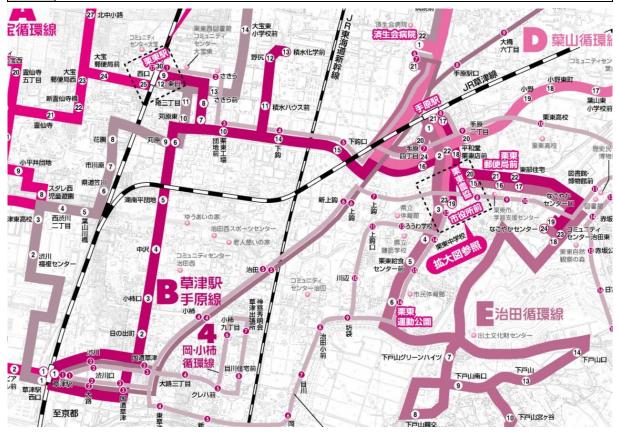
|            |  | 2017.の河場は1950年の2.427571(1)、 )   |
|------------|--|---|
| 路線         | 経緯と現状  | 方針 (案)  |
| A. 大宝循環線   | ・平成30年10月 JR 守山駅西口<br>まで延伸   | <ul><li>・前回改正後の利用が好調なことから、大幅な見直しなし</li><li>・運行ダイヤを JR 草津駅での乗継ぎを考慮したものに改正を検討</li></ul> |
| B. 草津駅・手原線 | ・平成 15 年 5 月運行開始<br>・平成 16 年 10 月に市役所〜なご<br>やかセンターまで延伸<br>・平成 20 年 10 月より早朝・晩の<br>減便等                      | ・概ね現状維持<br>・運行ダイヤを JR 手原駅からの乗継ぎ考慮したものに改正<br>を検討                                       |
| C. 宅屋線     | ・平成 28 年 10 月 JR 守山駅東口<br>まで延伸   | ・前回改正後の利用が好調なことから、見直しなし   |
| D. 葉山循環線   | ・平成15年5月の運行開始以来4回の見直し<br>・利用者の増加に伸び悩む<br>・運行体制上、運行時分の増加を<br>伴う改正は減便等なしには難<br>しい                            | ・運行体制を踏まえ運行便数や運行路線等を総合的に検討  |
| E. 治田循環線   | ・平成15年5月の運行開始以来4回の見直し<br>・利用者の増加に伸び悩む<br>・運行体制上、運行時分の増加を<br>伴う改正は減便等なしには難<br>しい                            | ・運行体制を踏まえ運行便数や運行路線等を総合的に検討<br>・運行当初と比較して人口の増加している地域への停留所<br>設置を検討                     |
| F. 金勝循環線   | ・平成15年5月美之郷線・成谷線・東坂線で開始<br>・翌年5月に観音寺線・走井線・<br>浅柄野の3路線を追加<br>・予約時間の見直し、フレンドマ<br>ートまでの延伸、予約電話のフ<br>リーダイヤル化など | ・一定の人口があり、かつ高齢化が進み利用者の増加が見<br>込まれる地区について、くりちゃんタクシーの利便性向<br>上(延伸や経路変更等)を検討             |

| (金勝地域) | ・帝産湖南交通が金勝線(栗東駅 | ・金勝地域内外を結ぶアクセス改善策を検討        |
|--------|-----------------|-----------------------------|
|        | 発着)と金勝線(草津駅発着)を | ※バス事業者の乗務員不足等や、既存の地域公共交通(民間 |
|        | 運行              | タクシー、くりちゃんタクシー)への影響への考慮が必要  |
|        | ・金勝地域内はくりちゃんタクシ |                             |
|        | 一が網羅            |                             |

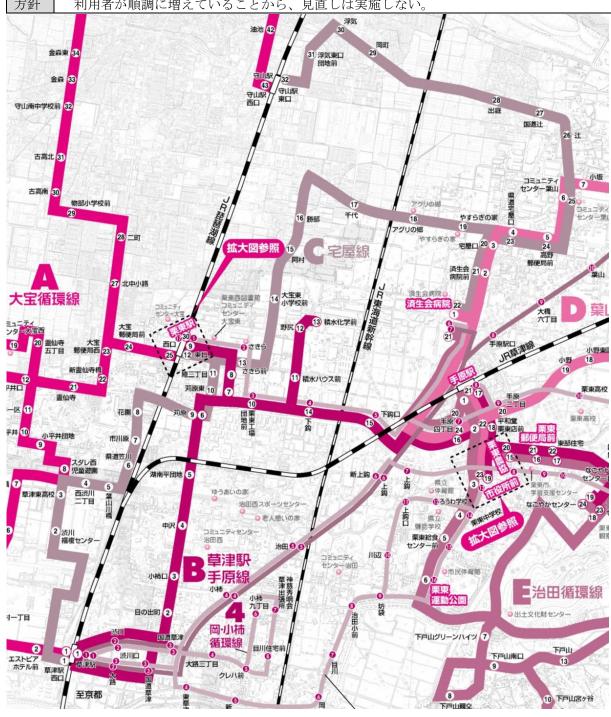
| 路線 | A. 大宝循環線                                    |
|----|---|
| 現状 | 平成30年10月に公共交通の空白地の解消(総十丁目・北中小路地域)及び利用者の利便   |
|    | 性向上のため、滋賀総合病院などの医療機関を経由して JR 守山駅西口まで延伸した。延伸 |
|    | 後は、半年間(H30.10月~H31.3月)で前年比約1.5倍の利用者増となった。   |
| 方針 | 利用者が順調に増加していることから、大幅な見直しは実施しない。ただし、JR との接   |
|    | 続を良くするために、バスダイヤの見直しを検討する。                   |



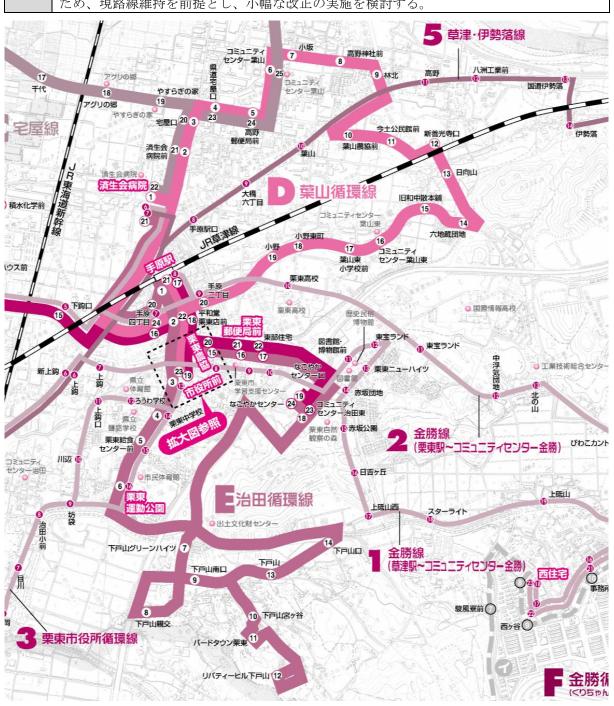
| 路線 | B. 草津駅・手原線   |
|----|--|
| 現状 | 平成15年5月に運行開始し、平成16年10月にルート変更(市役所~なごやかセンター延         |
|    | 伸)を実施した。   |
|    | また、平成 20 年 10 月からは、「栗東市財政再構築プログラム」への対応のため早朝・夜      |
|    | 便の減便等の見直しを実施した。それ以降は、見直しをしていない。                    |
|    | 利用者は、平成 20 年がピークであったが、上記減便の影響から平成 21・22 年で急激に減     |
|    | 少した。その後は、横ばい傾向にあったが、平成 29 年から平成 30 年にかけては約 1,400 人 |
|    | 増加した。  |
| 方針 | 一定の利用者がいるため、ルート変更等の大幅な変更は実施しない。ただし、JR との接          |
|    | 続が悪い便が見られるため(手原駅での鉄道からの乗継等)、バスダイヤ見直しを検討する。         |



| 路線 | C. 宅屋線  |
|----|---|
| 現状 | 平成 28 年 10 月に、利用者の利便性向上のため、それまで終点であった済生会病院から公       |
|    | 共交通不便地域であった辻地区を経由して JR 守山駅東口まで延伸した。この延伸により、         |
|    | 利用者数は、延伸前(平成 28 年)と延伸後(平成 30 年)の利用者数を比較すると、約 1.7 倍に |
|    | 増加した。   |
| 古針 | 利田老が順調に増うていることから 目古しけ宇施したい                          |



| 路線 | E. 治田循環線、 D. 葉山循環線                             |
|----|--|
| 現状 | 平成 15 年 5 月の運行開始以来、ルート変更等の 4 回の見直しを実施してきたが、利用者 |
|    | の増加に伸び悩んでいる(H27年度の小型車両導入は見直し回数に含まず)。なお、現在E.    |
|    | 治田循環線とD. 葉山循環線は、共通の車両で一体的に運行している。              |
|    | 路線沿線では、栗東市の高齢化率 18.66%を超える地区が多く分布しており、今後さらに    |
|    | 高齢化率が高くなっていくことが予想される。                          |
|    | 一方で、運行体制上、運行時分の増大を伴う改正は、減便等なしには難しいことが運行事       |
|    | 業者へのヒアリングで明らかになっている。                           |
| 方針 | この 2 路線は、日常生活に欠かせない病院(済生会病院等)及びスーパー(フレンドマート    |
|    | 等)への治田・葉山地域からのアクセス手段として現行ルートを維持する必要がある。その      |
|    | ため、現路線維持を前提とし、小幅な改正の実施を検討する。                   |



| 路線 | F. 金勝循環線(くりちゃんタクシー)                            |
|----|--|
| 現状 | 平成 15 年 5 月の運行当初は、美之郷線・成谷線・東坂線の 3 路線のみであったが、翌年 |
|    | 5月に観音寺線・走井線・浅柄野の3路線の運行を開始し、現在の運行体系となっている。      |
|    | その後、利用者の利便性向上のため、予約期限の見直しや、コミュニティセンター金勝~       |
|    | フレンドマート間の延伸、予約電話のフリーダイヤル化などの改善を実施した。           |
| 方針 | 金勝地域内において、一定の人口があり、かつ高齢化が進み利用者の増加が見込まれる地       |
|    | 区について、くりちゃんタクシーの利便性向上(延伸や経路変更等)を検討する。          |

